



2023年4月27日

株式会社 阿波銀行

一般社団法人徳島地域エネルギーの「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 福永丈久、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、一般社団法人徳島地域エネルギー（代表理事 豊岡 和美、本社：徳島県徳島市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	一般社団法人徳島地域エネルギー
所在地	徳島県徳島市伊月町一丁目 32 番地
代表者	豊岡 和美
業種	再生可能エネルギーの普及事業
設立	2012年3月23日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。



一般社団法人徳島地域エネルギー 代表理事 豊岡 和美

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
環境・経済	再生可能エネルギーの可能性追求	地域の森林資源を利用し木質バイオマスチップを製造、熱源として地域内に供給し、化石燃料からの転換を推進します。	① 木質バイオマスボイラーの販売および製造したチップの供給 本事例の全国展開		
			② 2025年度までに30カ所にボイラー設置 年間7,000 tのCO2削減を達成		
社会・経済	環境教育への貢献	再生エネルギーや地域森林資源の活用についての環境教育を行います。	① 神戸バイオマスラボ研究室での研修受入れやセミナー開催により、再生エネルギーの普及に向けた教育を実施		
			② 年間10件のセミナー開催 年間100名の研修生受入れ		
環境・社会・経済	リスクマネジメントの実施	持続的な事業活動のために、業務上発生しうるリスクを認識し、対策に努めます。	① リスクアセスメントの実施およびリスク管理体制の整備		
			② 年1回リスクアセスメントを実施 2023年度中に担当者の選任と体制整備		
社会・経済	顧客ニーズや課題の把握・改善	製品・サービスに関する顧客意見やニーズを積極的に収集し、改善検討する経営を行います。	① 顧客の声を製品・サービスに反映させる仕組みを構築		
			② 補助金申請や導入におけるコンサルティング内容を2024年度までに汎用化し、顧客サービスに活用		

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。